

大地震に備え、 住宅の耐震化をお考えください

平成28年熊本地震で被災した住宅

回覧



市周辺の活断層

楡形山地を
震源とする地震

最大震度6強

月岡地区を
震源とする地震

最大震度7



耐震性能
100%



現在

耐震性能
50%



昭和56年
5月以前建築

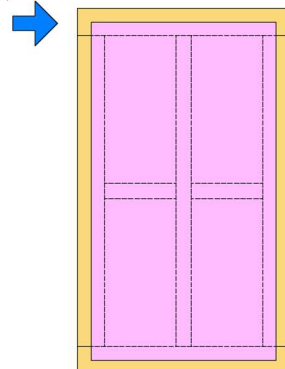
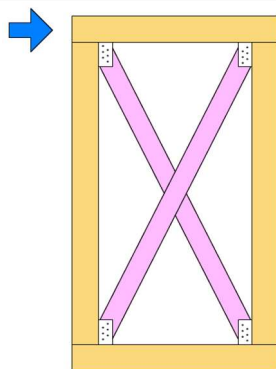
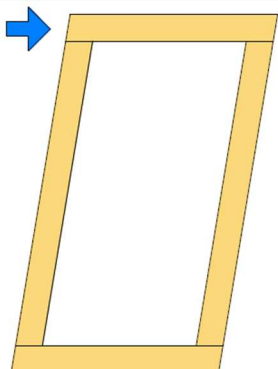
耐震性能
35%



昭和56年5月以前建築
メンテナンス
していない場合

昭和56年5月以前の建築は、現行基準と比較して耐震性が約3割しかありません。
令和6年能登半島地震で倒壊した木造住宅のうち、約9割が昭和56年5月以前の建築でした。

木造住宅の壁が、地震により変形するイメージ



木造住宅の耐震化

地震が発生した場合、横揺れによって建物が変形し倒壊する恐れがあります。
耐震性を向上させるため、**筋かい**を入れ**接合金物**で固定したり、**パネル**（合板）による補強で横揺れに強い壁を増設します。

このチラシに関する
お問い合わせ先

新発田市 建築課 建築審査係 TEL:0254-26-3557(直通)
〒957-0053 新発田市中心部5丁目2-13 地域整備庁舎2階

転倒する前に、危険なブロック塀の撤去をお考えください

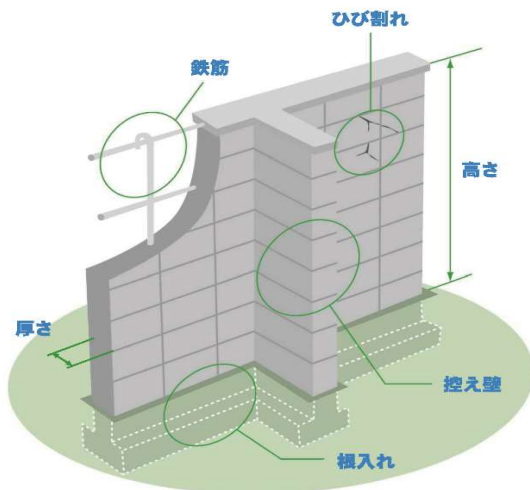


ブロック塀等の点検のチェックポイント

ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。

まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

国土交通省



出典：パンフレット「地震からわが家を守る」日本建築防災協会 2013.1より一部改

- ☐ 1. 塀は高すぎないか
●塀の高さは地盤から2.2m以下か。
- ☐ 2. 塀の厚さは十分か
●塀の厚さは10cm以上か。(塀の高さが2m超2.2m以下の場合は15cm以上)
- ☐ 3. 控え壁はあるか。(塀の高さが1.2m超の場合)
●塀の長さが3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。
- ☐ 4. 基礎があるか
●コンクリートの基礎があるか。
- ☐ 5. 塀は健全か
●塀に傾き、ひび割れはないか。
- ☐ 6. 塀に鉄筋が入っているか
●塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
●基礎の根入れ深さは30cm以上か。(塀の高さが1.2m超の場合)

組積造(れんが造、石造、鉄筋のないブロック造)の塀の場合

- ☐ 1. 塀の高さは地盤から1.2m以下か。
- ☐ 2. 塀の厚さは十分か。
- ☐ 3. 塀の長さ4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突出した控え壁があるか。
- ☐ 4. 基礎があるか。
- ☐ 5. 塀に傾き、ひび割れはないか。

<専門家に相談しましょう>

- ☐ 6. 基礎の根入れ深さは20cm以上か。

耐震シェルターとは

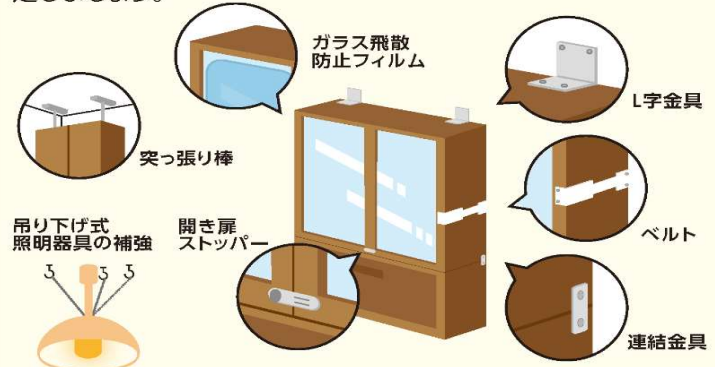
住宅が倒壊しても、一定の空間を確保することで命を守る装置です。市では就寝時、地震を感知してから瞬時に身動きがとれないと思われる高齢者や障がい者を対象に、設置工事に係る費用の一部を補助しています。



家具も倒れる！

昭和56年以降に建築された住宅であっても、地震により建物は揺れます。

室内の家具や照明器具等も、地震時には凶器となります。重量があるものや飛散する恐れがある家具等は、しっかりと固定しましょう。



新発田市の耐震化支援事業

補助対象は昭和56年5月以前建築（旧耐震）の木造住宅に限る



耐震診断
無料



耐震改修
工事費の2/3 (上限120万)



耐震シェルター
工事費の1/2 (上限40万)



危険ブロック塀撤去
工事費の2/3 (上限15万)

※令和7年度の募集は終了しました。

(令和7年9月作成)